

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	senju plus		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 20日		2026年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25 (回答者数)	21
○従業者評価実施期間	2026年 1月 20日		2026年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの発達段階や特性に応じた個別支援を丁寧に行っている点。	アセスメントを基に個別支援計画を作成し、日々の観察を踏まえて柔軟に支援内容を調整している。	支援内容や発達のねらいを、連絡帳や面談等でより具体的に発信していく。
2	保護者との日常的な情報共有と相談しやすい環境が整っている点。	連絡帳や送迎時のやり取りを通して、家庭との共通理解を深めるよう努めている。	個別支援の実施内容や活動の目的を、より分かりやすく伝える工夫を行う。
3	個別活動と集団活動を柔軟に組み合わせて支援できる体制が整っている点。	一人ひとりの課題に応じた個別支援と、社会性を育てる集団活動を計画的に実施している。	活動内容の振り返りを行い、より効果的な組み合わせを検討する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援内容や活動のねらいが、保護者へ十分に伝わりきれていない部分がある。	日々の支援を優先する中で、情報発信の時間確保が十分でないこと。	活動報告や連絡帳の記載を充実させ、支援内容の見える化を進める。
2	家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の実施が限定的である。	家族支援プログラムを実施するための人員体制や時間調整が課題となっていること。	家族向けの情報提供や小規模な勉強会の実施を検討する。
3	地域協議会や外部連携の場への参加が十分とは言えない。	外部会議参加や地域連携に充てる時間の確保が難しいこと。	地域協議会等への参加を今後検討し、地域連携の強化を図る。